

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月18日

学校法人ゆうあい学園 ゆうあい幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健全な心身の基礎を培う
- ・自立と協同の態度及び道德性の芽生えを培う
- ・豊かな心情や思考力の芽生えを培う
- ・喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養う
- ・豊かな感性を育て、創造性を豊かにする

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・自主的に生き生きと活動を展開できる環境を構成する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼児の姿を多面的に捉え、幼児の育ちを理解する	B	写真やエピソードを通して幼児の育ちを語り合うことについて、夏の園内研修で学び、後期に保育記録を取ることに取り組んだ。冬の園内研修では記録を元に話し合い、幼児理解を深めることができた。保育者同士の日常的なコミュニケーション、同僚性を高めるために継続していきたい。
2	周囲の自然の季節による変化を理解し、環境構成にいかす	B	園敷地の自然に興味をもち、幼児と一緒に生き物を飼育したり、草木と触れ合う機会を保育の中に多く取り入れることが出来た。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	コロナ禍という、難しい状況の中で、評価項目について意識して取り組むことが出来た。いずれも取り組みはじめたばかりである為、今後も継続して取り組み、園全体の保育の質のさらなる向上につなげていきたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	環境構成	園庭や室内環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達にそった環境構成に取り組む。
2	幼児理解	幼児同士のかかわりの姿を捉え、エピソードや写真で記録に残し、そこでの幼児の育ちを保育者同士で語り合い、幼児の育ちについて理解を深める。
3	地域社会	地域の自然や社会とのかかわりについて、どんなことが出来るのか、考える機会をもつ。

6. 学校関係者評価委員会の評価

保育者の反省点や課題の中で、保育に対しての真摯な姿勢が感じられ、子どもたちが大事にされていると感じた。コロナ禍で難しい面も多々あると思うが、これからも、保育者同士、保育者と子ども、保育者と保護者、それぞれが連携して、よりよい保育を目指してほしい。